

商 千葉商科大学同窓会

千葉商科大学同窓会ニューズレターは同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版であります。「きずな」本誌は年会費納入者に年3回、お届けし、大学の最新情報、同窓会の活動状況を皆様にお伝えしております。母校愛が蘇っております。

お申込み・問い合わせは、同窓会事務室および Web サイトにて承っております。

☆ご意見、ご要望を

お聞かせください☆

[TEL&FAX]

047-371-2665

[E-mail]

salon@all-cuc.org

同窓会ニューズレターや「きずな」の紹介記事、イベント、連絡事項は同窓会Web サイトに掲載されています。

[同窓会 Web サイト]

<http://www.all-cuc.org/>

[Facebook ページ]

ID : cuc.kizuna

[発行者]

千葉商科大学同窓会
広報・IT委員会

〒272-8512

千葉県市川市国府台 1-3-1



同窓会は人脈の宝庫



千葉商科大学同窓会会長 岩崎 勝彦

平成 27 年、同窓会は激変する環境の中で、より力強く生き残りをかけて生まれ変わろうと意を新たに、従来の会則を大きく見直しました。新会則に基づき若い世代の皆様にも参加していただき、「同窓会維持会費の増加」「組織の適正な人材登用」「母校との密なる連携強化」を主眼にすすめて参りたいと思っております。

とかく、同窓会は「先輩達の集まり」というイメージがありますが、卒業後何年か経つとふと、昔の仲間や恩師のことが懐かしくなったり、先輩のアドバイスを求めてかつての繋がりを探す時期が必ずやってきます。この時、何かの手がかりを与えてくれるのが同窓会なのです。同窓会はいわば、「人脈の宝庫」であり、千葉商大に関する情報をいつでも提供できる「場」なのです。今後は Web サイトや同窓会情報誌を通じて、同窓会活動に関心を持って貰える「切っ掛け」のための情報発信をしていく予定です。皆さんと一緒に新しい同窓会を育てていきたいと思っております。最後にもう一言。同窓会は決して「老人クラブ」ではなく「活動する同窓会」であることを申し添えます。(きずな21号より抜粋)

「きずな」創刊 20 号記念特別企画

『未来に帰った留学生たち』が考えるCUCの未来

同窓会の新しい活動課題に向けてー

平成 27 年 11 月、同窓会定期総会で大幅な会則改正が行われ、新体制でスタートした同窓会の今後を担う若手・中堅世代の卒業生が「私と大学」「私と同窓会活動」「大学と同窓会」「同窓会の未来」について語っている。千葉商大の同窓会もこの方々がいる限り安泰であると期待が膨らんでくる。是非ご一読を…。

<座談会出席者>

星野 喜宏 氏 (平成 11 年経済卒)

加藤 弘樹 氏 (平成 13 年経済卒)

半澤 広幸 氏 (平成 15 年経済卒)

宮坂 清佳 氏 (平成 17 年政策情報卒)

山川 司 氏 (平成 17 年政策情報卒)

<司会>

濱野 和人 氏 (平成 15 年商卒)



千葉商科大学瑞穂祭

10月29日(土)～10月31日(月)

同窓会

10月30日(日)

★第8回ホームカミングデー

★オープニングセレモニー (午前10時)

★第47期定期総会

★懇親会 (詳細は同封別紙案内参照)

10月29日～30日、「懐かしき思い出工房」 本館1階

思い出のアルバム展示

映像 (CUC の 1 年、未来からの留学生たちの今) など

同窓会本部からの報告

◇同窓会情報

1. 「新会則による新体制スタート」

第45期定期総会において継続審議となった「会則見直し」はその後、会則案、選挙管理規定案、組織図案の検討が加えられ平成27年11月1日、第46期定期総会において承認され、新会則に基づいて新体制がスタートした。会長・岩崎勝彦（平19院）、副会長・松崎峻（昭43経済）、近藤正弘（昭44経済）、樺田均（昭46商）、監事・坂本周男（昭34商）、中里稔（昭43経営）

2. 「きずな裏表紙の広告掲載のお願い」

「きずな」の裏表紙に卒業生の企業広告を募集しております。A5版9万円で年3回毎号掲載。A5版の半切5万円（1回）等ご要望に応じてさせていただきます。ご協力お願い申し上げます。広報・IT委員会まで。

◇大学情報

1. 創立90周年に向けて

平成30年（2018年）に創立90周年を迎える。大学では準備委員会を設立し、「きずな」21号より巣鴨経専時代から今日までの本学の軌跡を各時代の卒業生に寄稿していただいたり、着々と準備がすすめられている。

2. 100%自然エネルギーのエコ・キャンパスをめざしてー省エネ・創エネプロジェクト

本学には他大学にはない野田市に建てられた出力2.45メガワットの太陽光発電施設がある。これをもとに、100%自然エネルギーのエコキャンパスをめざして、政策情報学部教授「鮎川ゆりか先生」が省エネ・創エネプロジェクトでの画期的な研究成果が述べられている。大変興味深い。

◇維持会費納入のお願い

同窓会は維持会費（年会費）によって運営されております。納入いただいた方々を対象に、「きずな」本誌を年3回お送りしております。同窓会の充実・発展のため、今後とも、維持会費（年会費）の納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。（同窓会正副会長・財政委員会）

◇編集後記

本誌は同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版であり一部の情報の伝達にとどめております。事業計画・決算報告はじめ同窓会の記事詳細・大学情報はすべて本誌「きずな」に掲載網羅されております。是非ご覧いただきたく存じます。なお、きずな22号は10月下旬発刊予定です。定期総会でお待ちしております。（広報・IT委員会）

第47期事業計画に係わる基本方針

自平成28年10月1日 至平成29年9月30日

88年の先頭と歴史

母校を愛し、

母校と共に。

ー青春を謳歌した仲間と、ここで集おうー

I 基本目標

1 組織の基盤強化…維持会費納入促進

2 学生の就職支援のための卒業生データの

確保と対象者とのパイプ作り

3 活力ある同窓会活動の推進

…若手会員の活動と現役学生の接点作り

II 事業計画

“活力ある同窓会活動の推進”

1 組織の整備・改革及び運用の推進

2 本部、支部の連携強化と支部活動の積極的推進

3 同期会結成の積極的推進

（昭和50年代、60年代、平成年代）

第46期収支計算見込

第46期 収支計算書

（決算見込書）

自平成27年10月1日 至平成28年9月30日

（単位：千円）

正会員収入	20
学生会員収入	15,970
華甲会費収入	250
維持会費収入	3,939
総会費収入	764
寄付金収入	50
広告料収入	100
受取利息収入	563
その他収入	7,209
前年度繰越金	6,475
収入の部合計	35,340
定期総会等会議費	739
人件費	1,573
印刷費	3,286
通信費	4,579
消耗品費	218
賃借料	93
旅費交通費	2,293
振興助成費	2,234
支部長会助成費	200
団体活動助成費	460
事務電算委託費	183
学生会員記念品費	2,100
学生援助費	350
雑費	565
新会員歓迎費	500
同窓会基金へ繰入	3,938
大学への寄付金	3,171
次年度繰越金	8,858
支出の部合計	35,340